

公 告

防衛省共済組合豊川支部
支 部 長 小 川 真 人

次のとおり一般競争入札を実施するので関係事項を承諾の上参加されたい。

1 競争入札に付する事項

件 名	規 格	工 期	工事場所
隊員クラブ 屋根修繕工事	仕様書の通り	契約締結日から 令和8年1月30日	陸上自衛隊豊川駐屯地 (豊川市穂ノ原1-1)

2 仕様説明会等実施場所及び日時

(1) 仕様説明会

ア 場 所：陸上自衛隊豊川駐屯地 業務隊自習室
イ 日 時：令和7年9月17日（水） 10時00分

(2) 入 札

ア 場 所：陸上自衛隊豊川駐屯地 業務隊自習室
イ 日 時：令和7年9月24日（水） 10時00分

3 参加資格

(1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。

(3) 防衛省競争参加資格（全省庁統一資格）又は同等の資格を有し、防衛省から取引停止等の処分を受けている期間中の者でないこと。

(4) 暴力団排除及び談合等に関する特約条項について、締結できる者であること。

4 公告掲示期間

令和7年9月1日（月）～令和7年9月16日（火）

5 入 札 方 法：落札者決定に当たっては、入札書に記載された金額に該当金額の10%に相当する額を加算した額をもって落札価格とする。入札書は、消費税等に係る課税事業者であるか免税業者であるかを問わず、消費税を含まない（税抜）金額を記載すること。

6 保 証 金：入札保証金、契約保証金は免除

7 違 約 金：契約者が契約を履行しないときは、契約金額の100分の10を違約金として徴収する。

8 入札の無効：(1) 第3項に示す参加資格のない者が行った入札

(2) 入札金額、入札者の氏名及び押印された印影が判明し難い入札

(3) 仕様説明会に参加しなかった者の入札

(4) その他入札に関する条件に違反した入札

9 その他

(1) 電報、電話及び郵送等による入札は認めない。

(2) 入札に参加する際は、資格決定通知書の写しを提出すること。

(3) 入札に関し、委任を受けた者は、入札前にあらかじめ委任状を提出すること。（様式随意）

(4) 入札心得等関係事項を承知の上参加をして下さい。

(5) 落札となるべき同価の入札をした者が2人以上ある場合は、再入札により落札者を決定する。

(6) 落札者決定後速やかに契約書を作成する。

(7) 仕様説明会の参加を希望される方は、9月16日（火）17時まで下記担当者まで電話連絡して下さい。

10 この入札に関する問い合わせ先

〒442-0061 愛知県豊川市穂ノ原1-1 陸上自衛隊豊川駐屯地内
防衛省共済組合豊川支部 共済班長 岡崎 (0533-86-3151 内線 3350)

仕 様 書

- 1 工事件名：隊員クラブ屋根修繕工事
- 2 工事場所：愛知県豊川市穂ノ原1-1 陸上自衛隊豊川駐屯地
- 3 請負期間：契約締結日 ～ 令和8年1月30日
- 4 工事概要
本工事は、屋根（和室屋根部分除く。）のカバー工法実施により、雨漏り防止を目的とするものである。
- 5 工事に関する細部仕様等
別紙のとおり。
- 6 適用仕様書
本工事は、仕様書及び図面によるほかは国土交通省発行の「公共建築工事標準仕様書」「公共建築改修工事標準仕様書」及び関係諸規則による。
- 7 一般事項
 - (1) 本工事は、仕様書・図面及び関係諸規則に基づき、監督員の指示により実施するものとし、丁寧かつ確実に実施するものとする。また整備において、図面及び仕様書に明記無き事項でも作業上当然必要なことは受注者の負担において良心的に行うものとする。その他不明な事項、提出書類等疑義が生じた場合はその都度監督員と協議し指示に従うこと。
 - (2) 工事に伴い解体した部分は在来にならぬ、納まりよく補修するものとする。
 - (3) 現場の納まり取り合わせ等の関係で、材料の寸法・取付位置又は取付方法を多少変更する等の軽微な変更は監督員の指示によって行う。この場合において請負金額の増減又は工期の延長はしないものとする。
 - (4) 受注者は、実施条件を作業関係者に十分把握させるとともに、全作業員に対して安全教育を実施し、常に工事の安全に留意し、事故及び災害の防止に努めること。
 - (5) 現場管理
 - ア 受注者は、本工事の実施によって部隊の施設等に対し損害を与えた場合は、受注者の負担において早期に原状復旧するものとする。
 - イ 後片付けについては、その日の整備が終わるごとに実施し、現場に残す資材等についても紛失がないよう必要な措置を施すこと。
 - ウ 工事に必要な場所以外には立ち入らないものとする。
 - (6) 工事写真は、工事の主要な段階及び監督員の指示する場所において実施すること。項目は、着工前・工程（特に隠蔽部分）毎・竣工後を撮影し、写真帳（A4版）に整理し、工事完了後速やかに提出するものとする。
 - (7) 防衛省・自衛隊の施設からの電気・給水は原則として使用させないものとする。但し、使用する場合はメーター等を設置し、部隊側の算定に基づき有償とする。
 - (8) 受注者は、工事实施に先立ち、監督員と協議のうえ工事工程表を作成し監督員に提出することとし、了解を得たのち工事を実施すること。
 - (9) 工事に際し、関係官公署等への届出等が必要である場合については、受注者の責任に於いて、迅速に処理すること。
 - (10) 本仕様書及び図面に記載されてある寸法等については、あくまでも標準寸法であるため、実際の作業に際しては、必ず現地にて採寸を行い実施すること。
 - (11) 工事に際し、新設又は既設部分への補強及び養生等が必要と思われる箇所については、適切な養生を実施すること。
 - (12) 本工事は、土日祝日を除く 0815～1700 の間に実施すること。

- (13) 本工事期間、隊員クラブは土日祝日を除く平日に通常どおり営業する。
営業時間：1700～2130

8 特記事項

工事において発生した産業廃棄物については、受注者の責任において処分すること。この際、処分については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法令等」を遵守し、確実に処理することとする。産業廃棄物処理業者は、県知事の産業廃棄物収集運搬者及び産業廃棄物処分業の許可を受けた者とし、提出書類は次のとおりとする。

- (1) 都道府県知事等の産業廃棄物収集業及び処分業許可証の写し・・・1部
- (2) 産業廃棄物委託契約書の写し・・・1部
- (3) 産業廃棄物マニフェスト
(A票、B2票、D票、E票)のカラー写し ※運搬車両毎・・・各1部

9 材料仕様

本工事に必要な材料等は全て新品とし、規格・品質等が明示されていないものについては、見本等を提出し、監督員に承認を得てから使用するものとする。又、特記事項に無いものは、JIS規格及び各種協会規定、メーカー規定に合致したものを使用するものとする。

10 提出書類

- (1) 工程表・・・2部（契約締結後速やかに）
- (2) 現場代理人通知書・・・1部（" "）
- (3) 着工・竣工届・・・2部
- (4) 使用材料等承認願・・・1部
- (5) 出荷証明書・・・1部
- (6) 材料検査簿・・・1部
- (7) 工事日誌・・・1部
- (8) 工事写真・・・1部
- (9) その他指示された書類・・・1部

11 検査

工事完了後、現場清掃のうえ監督員に届出た検査員の実施する完了検査を受け、合格をもって工事完了とする。なお、完了検査は受注者立会のもと当該仕様書に基づき実施する。また、手直し等は正事項は、速やかに是正し、検査員の再検査をうけること。

別紙

仕様（資材等）及び施工要領等（基準）

1 仕様（資材等内訳）

品名	規格	数量	単位
1. 屋根工事（八角形）			
①下地造作工事			
野緑	30×40×4000	160.0	本
野地針葉樹合板	12×910×1820	145.0	枚
下地施工費		1.0	式
消耗部材費	針・ビス等	1.0	式
材料手上げ荷揚げ費		1.0	式
廃材処分費		1.0	式
②板金工事			
下葦きルーフィング		162.0	m ²
屋根立平葦		162.0	m ²
軒先ケラバ唐草		112.0	m
棟包み		31.2	m
棟ケミカルエプロ面戸		62.4	m
谷樋		33.6	m
落とし口ドレン	エルボ共 塩ビ 75φ	4.0	箇所
破風鼻隠し包み	和室棟も含む	76.6	m
既存 流水止め撤去		3.0	箇所
運搬・荷揚げ費		1.0	式
2. 屋根工事（折半）			
①下地造作工事			
野緑	30×40×4000	24.0	本
桧	45×90×1820	36.0	丁
野緑針葉樹合板	12×910×1820	34.0	枚
胴緑下地	20×45×4000	6.0	本
補足材 勾配高さ調整費		1.0	式
施工費		1.0	式
消耗部材費	針・ビス等	1.0	式
材料手上げ荷揚げ費		1.0	式
廃材処分費		1.0	式
②板金工事			
下葦きルーフィング		56.0	m ²
屋根立平葦		56.0	m ²
谷樋		4.6	m
落とし口ドレン	エルボ共 塩ビ 75φ	1.0	箇所
オーバーフロー管		1.0	箇所
屋根取合い水切り		16.0	m
パラペット部角波貼	新設壁含む	31.5	m
屋根平板貼		10.2	m
運搬・荷揚げ費		1.0	式

品名	規格	数量	単位
3. 防水工事（厨房）			
既存 ゴムシート撤去		30.9	m ²
下地処理		30.9	m ²
平場 ウレタン防水 通気暖衝工法		21.6	m ²
立上り ウレタン防水 密着工法		18.6	m
脱気筒設置		1.0	箇所
荷揚げ荷下ろし費		1.0	式
廃材処分費		1.0	式
4. 防水工事（トイレ）			
平場 ウレタン防水 密着工法		21.0	m ²
立上り ウレタン防水 密着工法		22.0	m
廃材処分費		1.0	式
5. アスベスト調査費			
アスベスト調査費		1.0	式
6. 鉄骨下地			
鉄骨下地簡易ケレン		1.0	式
鉄骨 強溶剤錆止め塗装		1.0	式

2 施工要領等

別添「隊員クラブ屋根修繕部位」のとおり。

隊員クラブ屋根修繕部位

